

GBATempで、ニンテンドー3DSのバックアップが起動するという”マジコン” Gateway 3DSが先日リリースされたシステムバージョン7.2.0-17Jで既に対策されていたことを伝えていました。

ニンテンドー3DSのバックアップ起動ができるFlashcart  
いわゆる”マジコン”として世界で初めて発売を告知したGateway  
3DSですが、先日リリースされたニンテンドー3DS  
システムバージョン7.2.0-17Jでひっそりと対策されていたようです。

「システムの安定性や利便性の向上」という変更点に含まれていたのですね。

この話は、「Gateway  
3DSが7.2.0-17-xxに対策されたと聞いたんですが、本当ですか？」とメールでGateway  
3DSチームへ質問したユーザー宛に、[Gateway 3DSチーム](#) から次のようなメールの返信が届きました。

現時点ではファームウェア7.2.0-17-xxには非対応ですが、出来るだけ早く対応するべく目下作業中です。

ですから、7.2.0-17-xxに対応できたと告知するまではアップデートしないで下さい。

まだGateway  
3DSは一般には出回っていないはずなのに対策されたとすると、考えられる理由は以下の3つです。

任天堂が事前にGateway  
3DSを入手(提供した人物がいるということです)したか、DSのFlashcartの対策で副次的に対策されたか、任天堂が7.2.0-17から今までとは異なる何らかの根本的な対策を施したか。

こう言ったことはイタチごっこになるのが関の山ですので、仮にGateway

3DSチームが7.2.0-17に対応できたとしても今後のファームウェアアップデートで同じことが繰り返されるでしょう。

今回の7.2.0-17-xxではセーブデータのバックアップ機能が追加されましたが、そういった魅力的な機能追加があるとアップデートしないという選択肢は取りにくいものです。